

<b>第13回・第2期第4回宝塚市協働のまちづくり促進委員会 会議録</b>	
開催日時	平成28年5月18日（水）18：30～20：30
開催場所	宝塚市市役所3階 特別会議室
次 第	1 開 会 2 議事録 宝塚市協働のまちづくり促進委員会(第12回)議事録 3 議 事 (1) 宝塚市住民自治組織のあり方に関する報告書について (2) 各部会の審議事項について 4 その他 5 閉 会
出席委員	久委員長、足立委員、壹岐委員、飯室委員、石谷委員、熊澤委員、久米委員、古泉委員、古村委員、高松委員、田中委員、中山委員、原田委員、立花委員、土屋委員
開催形態	公開（傍聴人1）

## 1 開会

第13回・第2期第4回宝塚市協働のまちづくり促進委員会の開会。

事務局から、本日の委員出席者数は15人、欠席者は3人であり、宝塚市協働のまちづくり促進委員会規則第5条第2項に規定する過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立していること、及び傍聴希望者は1人であることを報告した。

新委員である壹岐委員、立花委員、土屋委員の挨拶。その他委員、事務局職員の挨拶。

## 2 議事録

宝塚市協働のまちづくり促進委員会（第12回）議事録については、修正等の意見がなく、議事録（案）をホームページに掲載することを委員が了承した。

## 3 議事

### （1）宝塚市住民自治組織のあり方に関する報告書について

事務局より、宝塚市住民自治組織のあり方に関する報告書（以下、「報告書」という。）について説明を行った。その後、質疑応答及び久会長からの補足説明等があった。  
 ア【会長意見】ヒアリングを行い、委員でまとめた報告書である。何か意見はあるか。  
 イ なぜ、まちづくり協議会を作った当初の位置付けが変わってしまったのか。報告書には記載がないようであるがどのように考えるのか。

ウ【会長意見】位置付けについては、当初の位置付けと変わっていることは一定程度、確認をしている。しかし、変化の変遷は追いかけることができない。追いかけられたとしても建設的な議論ができない。そのため、もう一度、仕切り直しを行うという意味で、報告書では詳しく記載していない。

エ 自治組織のあり方はどうするべきなのか。

オ【会長意見】構造として、市内には、単位自治会（以下、「自治会」という。）、それをまとめる宝塚市自治会連合会（以下、「連合会」という。）、宝塚市自治会ネットワーク会議（以下、「ネットワーク会議」という。）、まちづくり協議会がある。これらの組織と行政がどう関わっていくかを整理する必要がある。行政のパートナーとしては、市が立ち上げた「まちづくり協議会」として考える。そして、まちづくり協議会の非常に重要な構成員として、自治会がある。これが本来の姿ではないか、ということに記載している。自治会の連合体としてあるべき姿は、自治会で任せる。そう考えた時に、連合会の事務を市が行い、一方で、ネットワーク会議に対しては行っていないという市との関係性については一度リセットをしなければならないのでは、という提案をしている。

カ 時代が変わった今、市の自治会への取り組みとして、新たな提案はあるのか。

キ【会長意見】その部分については、部会で提案できたらと思う。明治時代、初めて市区町村制が出来た時のように、地域の自治のあり方は、試行錯誤の上、決めていく必要がある。「自治」のことは、「自治会」で行う。報告書に足りない部分は、この委員会で考えていけたらと思う。また、必要であれば、調査専門委員の先生にもオブザーバーとして参加してもらえたら、と思っている。

ク この報告書の中での大きな問題は、連合会とネットワーク会議の分裂化について、誰かが中間で一体化させるようにすべきではないか、という文言がないことである。市が間に入っていかなければならないのではないかと思う。

ケ【会長意見】自治会の問題は、自治会が考えていくべきである。そして、自治会連合会は、全国的な傘下になること自体も考え直していく時期ではないか。

コ 自治会は会員制の組織である。加入率の低下の問題もあることから、会員制組織であることから見直ししていかなければならない。まちづくり協議会は、全員が参加の組織である。うまく運営できているのかの問題はあるが、まちづくり協議会は、少なくとも会員制組織ではない。また、市が連合会の事務局を担ってきたこと自体が異常なのではないか。それらを変えていかなければ、次のステップに進めないのではないか。

サ【会長意見】報告書は、委員の独断で決定したものである。そのため、市は一切、手を出していない。どう受け止めるかは、それぞれに任せたい。

## (2) 各部会の審議事項

ア 各部会の審議事項については、各部会に分かれてから議論していくことになった。

イ 事務局より、今後の委員会開催スケジュールについて、説明を行った。

## 4 その他

ア 事務局より、「協働のマニュアル」について、6月中旬頃完成する旨、連絡を行った。また、今年度の職員研修及び市民説明会の開催スケジュール（案）について提示するとともに市民説明会のためのプロジェクトチームへの参加のお願いを行った。

## 5 閉会